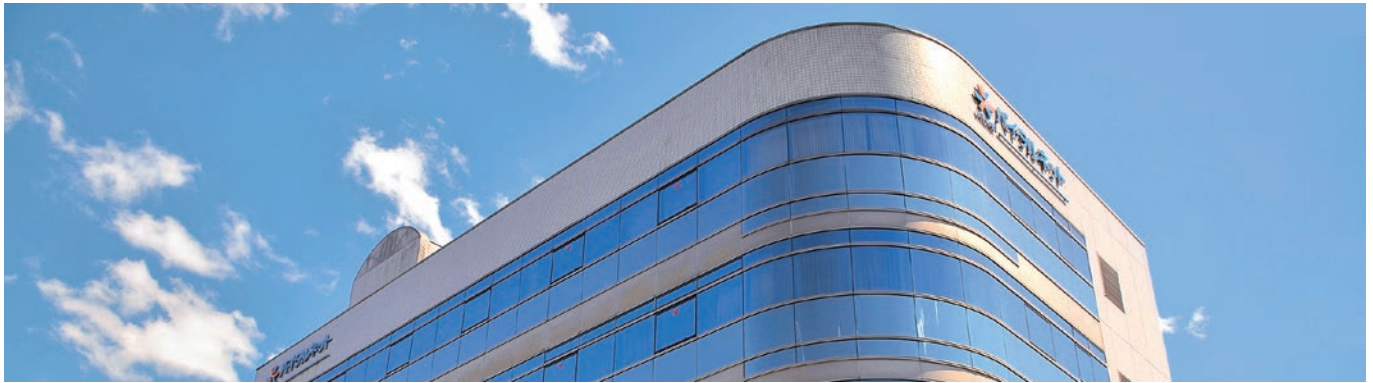


株式会社バイタルネット



一斉アクセス、動画閲覧も問題なしの新無線 LAN 管理性も向上しプロアクティブなトラブル対応が可能に



製品 & サービス

- Cisco Catalyst 9800 シリーズ
ワイヤレス コントローラ
- Cisco Aironet 2800 シリーズ
アクセス ポイント

課題

- 無線 LAN の老朽化で通信の安定性が低下し、機器の故障率も上がっていた
- シンククライアントの導入や動画コンテンツの普及などで通信速度の問題が顕在化
- 管理画面のレスポンスが悪く、問題発生時の原因究明も困難

ソリューション

- シスコの最新製品の採用によって安定性と通信速度の問題を解決
- 日本語化された管理画面によってトラブル対応などの運用性が向上
- ユニアドキスとシスコとの緊密な連携によってスムーズな検証と移行を実現

結果～今後

- 通信の安定性と速度が飛躍的に向上し、ユーザーからの問い合わせが激減
- 現地に行かずともトラブルの原因を究明。問い合わせを待たずプロアクティブな対応も可能
- 今後はスイッチの更改も行い、最適化可能なネットワークの確立を目指す

地域密着型の「ヘルスケアコーディネーター」として、医薬品卸売事業などを展開するバイタルネット。ここでは老朽化した無線 LAN が、シスコ製品へとリプレースされています。その最大の理由は信頼感の強さと故障率の低さ。また導入ベンダーとの緊密な連携も高く評価されています。無線 LAN の更改によって安定性と通信速度は大幅に向上。また日本語化された GUI の管理画面によって、運用も容易になっています。

シスコの新ワイヤレスソリューションを採用したことで安定性と性能が向上。事前検証や移行作業も万全の体制で支えてくれました。

—株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングス ICT戦略部 情報システム室 室長 田口 英樹 氏

医薬品卸売業をコア事業とするバイタルネット。社名に含まれる「バイタル」という言葉は、「命に欠くことのできない」「生気にあふれた」という意味を表しており、人々の健康に貢献したいという強い願いが込められています。主に東北 6 県と新潟県でビジネスを展開し、地域密着型の「ヘルスケアコーディネーター」として重要な役割を担っています。

課題

老朽化した無線 LAN の問題がシンククライアントの導入で顕在化

現在のバイタルネットの社内ネットワークは無線 LAN が導入されています。しかし、導入から数年が経ちアクセスポイントが老朽化。経年劣化に伴う故障率増大などの課題を抱えていました。

「シンククライアントを導入し、運用を開始したことも、既存の無線 LAN の問題を浮き彫りにしました」と振り返るのはバイタルネットの親会社として、ICT 活用などの本社機能を担うバイタルケーエスケー・ホールディングスの田口 英樹氏です。シンククライアント化によってネットワークの負荷が増大したことで、古い規格の無線 LAN では十分な通信速度を提供できなくなりユーザーの不満につながっていたといいます。

「10 時ごろに会社を出て、17 時ごろに帰社するというように、営業担当者たちは、ほぼ同じようなタイムスケジュールで行動しています。そのため決まった時間にアクセスが集中しがちで、その時間帯はシンククライアントがフリーズしやすかったのです」(田口氏)。

加えて、管理用コンソールの使い勝手も満足のものではありませんでした。レスポンスが悪く、運用管理に時間がかかっていたのです。



株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングス
ICT戦略部
情報システム室 室長
たくち えいき
田口 英樹 氏

「アクセスポイントの管理を GUI で集中的に行えるようになってはいたものの、画面が表示されるまでの時間が長い上、確認可能な情報も限定されており、問題発生時の原因究明も簡単に行うことができませんでした」とバイタルケーエスケー・ホールディングスの豊口 宙氏は言います。

Cisco Catalyst 9800 シリーズの 使いやすい日本語化された管理画面によって管理性が向上。 トラブルが発生しても、自分たちだけで迅速に対応できます

ソリューション

製品の信頼性、サポート体制による安心感を高く評価

これらの問題を解決するため、同社は複数の無線ソリューションを比較検討。最終的にユニアデックスが提案したシスコのワイヤレスソリューションの採用を決めました。具体的には、Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ、802.11ac Wave 2 対応の Cisco Aironet 2800 シリーズ アクセス ポイントを組み合わせた構成です。

まず採用の理由となったのがシスコ製品の信頼感です。「シスコは長い歴史を持つネットワークブランドであり、安心、安全という面で、他社の追随を許さない強みがあると感じました」(田口氏)。「実際、既に当社の物流センター内において、検品用ハンディ端末のネットワークでシスコ製品を利用していました。その経験から故障の少なさや安定性の高さは既に実感していました」と豊口氏は続けます。

このような製品の信頼性の高さに加えて、ユニアデックス社内にはシスコ製品を担当する主幹部門が存在し、ワンストップで保守サービスを提供することが可能。「無線 LAN は、我々の業務に必要不可欠なものであり、今回の更改プロジェクトは失敗が許されませんでした。シスコ以外の製品に関する導入事例なども見せていただきましたが、確実に更改を果たすには、製品面からもサポート面からもシスコ製品の採用が最善だと判断しました」と田口氏は言います。

使いやすい日本語 GUI。トラブルの原因究明も容易に

導入に当たっては、テスト環境を構築し、実際のシンクライアントを接続して信頼性や運用性について綿密な検証を行いました。

同社は、これまで IT ソリューションの導入においては、既に市場で実績のあるものを導入するという基本方針を貫いてきました。しかし、当時 Cisco Catalyst 9800 シリーズは発表された直後で、まだほとんど実績がない状態だったためです。

「Cisco Catalyst 9800 シリーズは、仮想アプライアンス版が用意されており、それを検証用に利用しました。シスコのサポートのもと、バイタルネット様が利用しているデータセンターのハウジングスペースに仮想アプライアンス型の Cisco Catalyst 9800 シリーズを構築し、実際のシンクライアントを接続して検証を行いました」とユニアデックスの鎌田 知男氏は説明します。

実際に検証を行ってみると、期待した通りの安定性と性能、そして Cisco Catalyst 9800 シリーズの日本語化された GUI によって高い運用性を備えていることが確認できました。

「ユーザー認証やクライアントとの相性問題によるトラブルもなかった上、アクセスポイントの稼働状況がダッシュボードを通じてひと目でわかる点を高く評価いただきました」とユニアデックスの三浦 大樹氏は振り返ります。

具体的には、電波干渉、認証に失敗したクライアント、そしてクライアントがどのアクセスポイントにアクセスしているかなどを把握可能。それらの情報が軽快に表示され、日々の運用にしっかりと活用していきます。「これなら問題が発生した場合の対応も、自分たちだけで迅速に行えると感じました」と豊口氏は評価を語ります。

切り替え作業はわずか 10 秒で完了しユーザーへの影響は皆無

検証で問題がないことを確認できた同社は、既存のものも含む全てのアクセスポイントを一旦



株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングス
ICT戦略部
情報システム室
とよぐち びるし
豊口 宙 氏

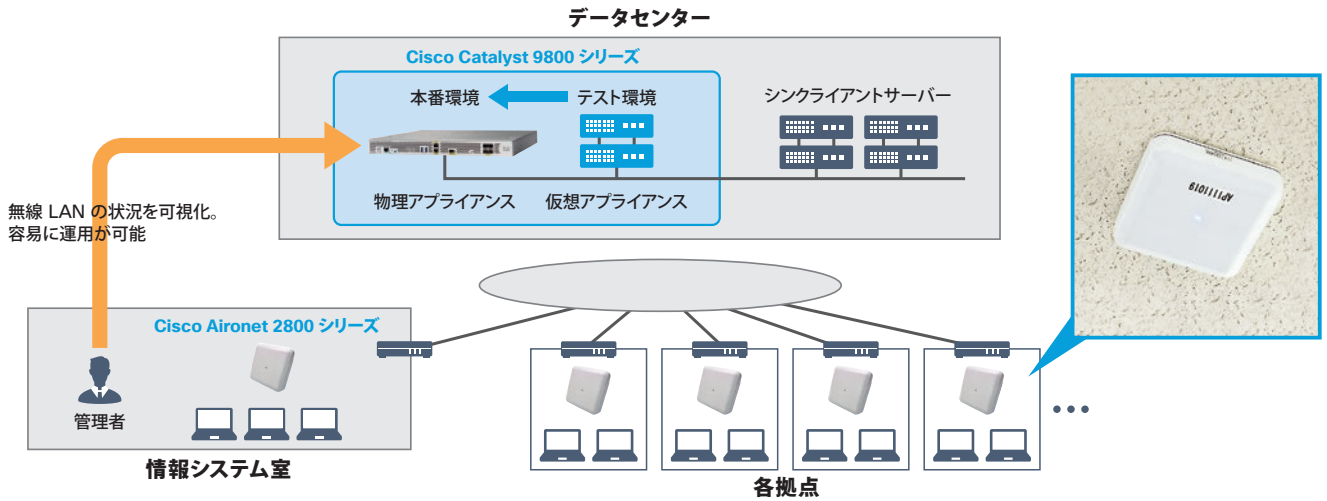


ユニアデックス株式会社
北海道/東北営業部 東北営業所
グループリーダー
みaura ひろき
三浦 大樹 氏



ユニアデックス株式会社
エクセレントサービス第二本部
東日本システムサービス統括部
北海道東北システム部 東北システムサービスG
かまた ともあき
鎌田 知男 氏

バイタルネットの新無線 LAN 概要



Cisco Catalyst 9800 シリーズワイヤレスコントローラの GUI イメージ



Cisco Catalyst 9800 シリーズの仮想アプライアンスに接続。その上で、段階的に各拠点のアクセスポイントの Cisco Aironet 2800 シリーズへの置き換え、仮想アプライアンスから本番環境用のハードウェアへの Cisco Catalyst 9800 シリーズの置き換えを進めました。

既に、主要 13 拠点に約 80 台のアクセスポイントが導入され、移行作業を終えています。その作業がユーザーにまったく影響を与えなかったことも注目すべきポイントです。各拠点のアクセスポイントの切り替えは昼の 12 時ごろに実施されましたが、セッションが維持されたままの状態でも 10 秒以内に完了。ユーザーはログインし直す必要はありませんでした。「利用者は、環境が切り替わったことにまったく気がついていないと思います」(豊口氏)。最終的には、残る 50 を超える拠点に合計 210 台のアクセスポイントが展開される予定です。

「Cisco Catalyst 9800 シリーズがリリースされたばかりということもあり、シスコのインの技術チームが必要に応じてミーティングに参加してくれるなど、ユニアデックスとシスコは緊密な連携体制で、プロジェクトをしっかりとして支援してくれました」と豊口氏は両社のサポート体制を評価します。

結果～今後

安定性と通信速度が飛躍的に向上、使いやすい管理画面で運用も容易に

シスコソリューションへの無線 LAN の更改によって、バイタルネットの通信環境の安定性は飛躍的に向上しています。古い規格から IEEE 802.11ac Wave 2 へと移行したことで、通信の高速化も実現し、ネットワークがつかないという問い合わせは激減しました。

「製薬会社の製品説明が動画になっているなど、ネットワークトラフィックは年々増え続けています。以前の無線 LAN では、それがたびたびトラブルを招いていましたが、現在は多数のユーザーが同時に動画再生を行っても、以前のようにフリーズしてしまうということはありません」(田口氏)。

また、トラブル対応の工数も効率化され、迅速な対応が可能になっています。

例えば、あるユーザーの通信が不安定になっていたケースでは、ユーザーの席は拠点のビルの

2階にあるのに、3階のアクセスポイントに接続していることをすぐに把握。3階のアクセスポイントの電波を弱めて2階のアクセスポイントに接続させるといった対応で、問題を即座に解決できたといいます。

「以前は、電話のやりとりだけでは状態を把握できず、現地に足を運ぶことも多かったのですが、Cisco Catalyst 9800 シリーズなら、本社にいながらトラブルの原因を詳しく把握することが可能。また、これまではユーザーからの連絡がなければトラブル自体に気付くことができませんでしたが、管理側でトラブルを発見し、プロアクティブに対応することもできるようになりました」と豊口氏。また田口氏も「使いやすい管理画面の存在は、ベンダーへの依存度を低減させる上でも重要。以前は何かあるとすぐにベンダーに頼らざるを得ず時間がかかることも多かったのですが、これからは自分たちがやりたいことをタイムリーに行っていけるでしょう」と管理性向上がもたらすメリットを強調します。

スイッチも更改して自立運用などさらなる運用の高度化を目指す

無線 LAN のリプレースを終えた後、同社はスイッチの更改も行う計画です。スイッチも老朽化が進んでおり、LAN ケーブルの劣化も懸念されているからです。

「スイッチも無線 LAN と同様に幅広い選択肢の中から検討したいと考えています」と田口氏。ネットワーク機器の更改では相性問題が発生することも懸念されるため、一気通貫で安定稼働するものがあれば一元化していくことが望ましいという考えから、シスコ製品も候補に挙げています。

シスコ製品で特に期待しているのが、より高度なネットワークの運用です。

「これまではネットワークに必要な機能が増えるごとにハードウェアを増強する必要がありましたが、今後はこのようなことも回避できればと思っています。そのためには SDN など、最新のテクノロジーが必要になるでしょう。シスコが提唱する Cisco Digital Network Architecture (Cisco DNA) も自立運用を実現できるものとして期待しています。今後もユニアテックスの協力を得ながら、コストを抑えながら最適化可能なネットワークを確立する方法を見極めていきたいと考えています」と田口氏は展望を述べました。

株式会社バイタルネット



所在地 宮城県仙台市青葉区大手町 1 - 1
設立 1950年2月14日

従業員数 1,273人(2019年3月末現在・単体)
URL <https://www.vitalnet.jp/>

主に東北6県と新潟県において、医薬品や医療機器の卸売業、介護関連事業、医療・介護機関の支援、プライベートブランド商品の開発などの事業を展開。地域密着型の「ヘルスケアコーディネーター」として、

重要な役割を担っている。経営理念は「ひとびとの健康に奉仕し、健全な社会の育成に貢献する」。生命関連商品を扱う企業として、常に地域の患者や生活者の視点を重視しながら、社会的使命を果たし続けている。

©2019 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R)

この資料の記載内容は 2019 年 7 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



お問い合わせ

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>